

次世代型マンホール蓋仕様書

1. 適用範囲

この仕様は、大阪市が使用する下水道用マンホール蓋に適用するものとし、その種類は次項のとおりとする。

本仕様書に定めのない事項については、大阪市建設局作成による「下水道マンホール蓋仕様書」（以下、「建設局仕様書」）に準拠すること。

2. 種類

種類	荷重仕様	タイプ
次世代型マンホール蓋 (2024年度版技術マニュアル※準拠)	T-25	開口部(開閉器具用穴以外) : 雨水・合流…あり 汚水…なし

※ 公益財団法人 日本下水道新技術機構 発行『アセットマネジメントの実践に向けた次世代型マンホール蓋技術マニュアル』（2024年6月発行）を示す。

3. 製品構造・機能及び寸法

次世代型マンホール蓋については、(公財)日本下水道新技術機構 発行『アセットマネジメントの実践に向けた次世代型マンホール蓋 技術マニュアル』（2024年6月発行）（以下「2024年度版技術マニュアル」と言う。）に準拠した性能とする。

また、開閉器具用穴以外の開口部を設ける製品については、製造業者は設計図書にて耐荷重強さなどが規定値内であることを提示すること。

4. 性能確認方法

製品検査は、2024年度版技術マニュアルに基づく（公財）日本下水道新技術機構の建設技術審査証明書の取得、または、検査が確実・公平に透明性を持って実施できる、公的試験所もしくは第三者性を証明できる試験所（ISO/IEC17025取得等）で実施し、その証明書を提出すること。また、本市が必要と認めた場合、検査員立会の上で検査を行う。

検査合格品といえども、納品後、本市が必要とした場合には、その製品について再検査を指示することがある。

全項目の検査に要する製品及び検査費用は、製造業者負担とする。

次世代型マンホール蓋の材料承認については、事前にマンホール蓋の性能が2024年度版技術マニュアルに準拠していることを証明する建設技術審査証明書又は試験成績書等の資料を添付した承認申請を本市職員に提出し承認を得ること。開口部を設ける製品については2024年度版技術マニュアルに記載が無い場合、荷重強さなどが規定値内であることを確認できる設計図書を提出する。

5. 性能確認項目

次世代型マンホール蓋 試験項目（2024年度版技術マニュアルに準拠）

性能	試験項目	摘要
耐がたつき性能	交互荷重試験（初期性能）	技術マニュアル
	輪荷重走行試験（限界性能）	技術マニュアル
耐荷重性能	荷重たわみ試験	G-4
	耐荷重試験	G-4
	発生応力度試験（初期性能，限界性能）	技術マニュアル
耐スリップ性能	すべり抵抗試験（初期性能，限界性能）	技術マニュアル
圧力解放性能	圧力解放性能試験（初期性能）	技術マニュアル
	蓋解放力測定試験（輪荷重走行試験時）（限界性能）	技術マニュアル
蓋浮上性能	浮上高さ、蓋浮上時／浮上後の走行性	技術マニュアル
	傾斜設置での施錠性／蓋収納性	技術マニュアル
耐揚圧強度	耐揚圧荷重強度試験	技術マニュアル
	耐揚圧性能衝撃強度試験	技術マニュアル
転落防止性能	転落防止装置耐揚圧試験	G-4
	転落防止装置耐荷重試験	
蓋の開放性能	蓋の開放性能確認試験	技術マニュアル
	蓋解放力測定試験（輪荷重走行試験時）（限界性能）	技術マニュアル
蓋の脱着・逸脱防止性能	蓋の脱着・逸脱防止性能	技術マニュアル
不法開放防止性能	不法開放防止性能試験	G-4
	施錠強度確認試験	技術マニュアル
防食性能	塗膜の防食性能（硫酸浸漬試験（傷なし））	技術マニュアル
	使用環境を想定した防食性能（硫酸浸漬試験（傷あり））	技術マニュアル
施工性	傾斜施工試験	技術マニュアル
	枠変形防止性確認試験	技術マニュアル
材質	Yブロック、実体切出し	技術マニュアル
寸法，外観および形状	寸法検査	G-4
	外観および形状検査（開口部を設ける製品を含む）	G-4

摘要凡例・・・技術マニュアル：2024年度版技術マニュアル、G-4：JSWAS G-4-2023

※本仕様書に定めのない検査事項については、「建設局仕様書」に準拠すること。

6. 疑義

以上の事項に該当しない疑義については、本市職員と協議のうえ決定するものとする。

添付図面 1

次世代型マンホール蓋表面鑄出し

